

みんなのなりた

NO.89 2017年11月1日

発行／成田市議会
編集／成田市議会広報広聴委員会
〒286-8585 成田市花崎町760
Tel 0476-20-1570(直通)
Fax 0476-24-0336

平成 29 年 9 月定例会



主な内容

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 2 9月定例会ハイライト | 8 一般質問 |
| 4 委員会審査レポート | 14 市議会フォーカス「市議会へ傍聴に行ってみよう」 |
| 6 決算特別委員会 | 15 市議会のみかた |
| 7 議案と審議結果一覧 | 16 議会報告会のご案内 |

議会報告会にお越しく下さい

11月4日、5日に議会報告会を開催します。
各委員会からの報告に加え、参加者の皆さんとの
意見交換も行います。ぜひ、ご参加ください。
詳しくは、裏表紙へ。

成田市議会からのメッセージ

定例会審議から、くらしにかかわる可決議案、報告などをピックアップします

9月定例会ハイライト

決算議案を含む28議案を可決・同意・認定

平成29年度一般会計補正予算 や市有財産の取得など

平成29年9月定例会は、9月1日に招集され27日まで27日間の会期で開かれました。定例会の初日には、28議案が上程されました。

5日には、決算関係議案を審査する決算特別委員会が設置されました。

一般質問は、5日から4日間、17人の議員が登場して行われ、8日には議案3件を同意しました。11日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案25件を原案どおり可決・認定し、閉会しました。

【9月定例会の日程】

月日	内容
9月1日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
5日(火)	本会議(一般質問)、決算特別委員会
6日(水)	本会議(一般質問)
7日(木)	本会議(一般質問)
8日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
11日(月)	建設水道常任委員会、空港対策特別委員会
12日(火)	医学部設置に関する特別委員会、経済環境常任委員会
13日(水)	教育民生常任委員会
14日(木)	議会運営委員会、総務常任委員会
19日(火)	決算特別委員会
20日(水)	決算特別委員会
21日(木)	決算特別委員会
27日(水)	本会議(会議録署名議員指名、議案審議、閉会)



子育て

玉造保育園の大規模改修

玉造保育園大規模改修工事

平成7年の建設以来、老朽化が進んでいた玉造保育園が、大規模改修されます。保育環境の改善と機能の拡充が図られます。(教育民生常任委員会)

新生市場関連予算、 増額補正される

市場



成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算

卸売市場の施設整備事業として6,407万7,000円が増額されました。高機能物流施設を公設で整備することによるものです。(経済環境常任委員会)

入学準備学用品費が 入学前に支給

教育



就学援助費における入学準備学用品費の入学前支給
入学に際し必要となるランドセル代や制服代などの学用品費に係る就学援助費が、入学する年度の開始前に支給となります。小学校、中学校および義務教育学校の平成30年度の新1年生からは、実際に支出が必要となる3月に支給されます。(教育民生常任委員会)

※就学援助費は、経済的理由によって就学困難と認められる学齡児童生徒の保護者に対し、援助されるものです。



今春に医学部が開学。 医学部設置に関する 特別委員会の調査活動終了

未来戦略

医学部設置に関する特別委員会調査活動終了

医学部および付属病院の設置に当たっての諸課題について検討調査を行うため、設置された医学部設置に関する特別委員会は、9月定例会最終日に最終報告を行い、調査活動を終了しました。(医学部設置に関する特別委員会)

追跡
ハイライト

前号で紹介した スケートボードパークの利用者に聞きました

- 成田というアクセスが良い土地にスケートボードパークができてよかった。
- 学生なので、日中はなかなか利用できない。開場時間を延長してほしい。
- とにかく最高です。ありがとうございました。





委員会審

総務常任委員会

補正予算を審査

議案3件をいずれも可決しました。所管事務について、2件の報告を受けました。

成田市一般会計補正予算の内容は、社会保障番号制度システム整備費補助金、ふるさと基金寄付金、運動施設整備事業債、戸籍住民基本台帳に関する経費、証明書コンビニ交付事業、水田農業構造改革対策事業、小学校就学援助費支給事業、運動公園等整備事業等で、歳入歳出それぞれ13億6,760万6,000円を増額補正し、橋賀台小学校の大規模改造工事に必要な仮設校舎借上げ料について、債務負担行為を追加するものです。



改修が予定される中台プールと管理棟

経済環境常任委員会

企業誘致条例を一部改正

議案2件を可決しました。所管事務について、9件の報告を受けました。

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律が改正され、題名が「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」に改められたことから、条例改正を行いました。今後の企業誘致事業の戦略については、製造業に加え、ほぼ全ての産業を支援の対象とした法改正の趣旨をくみ取り、企業が成田市に立地したいという声に応えられるような制度や体制を整えていきたいとのことでした。

教育民生常任委員会

マイナンバー法に関連し、介護保険条例を一部改正

議案4件をいずれも可決しました。所管事務について、3件の報告を受けました。

マイナンバー法の施行に伴い被保険者の資格等に関する調査の対象者が拡大されたため、正当な理由なく調査に従わない場合に係る過料の対象者も同様に拡大されたことから、成田市介護保険条例の一部を改正しました。

次に玉造保育園大規模改修工事が予定され、また改修工事完了後に解体、撤去する予定であった赤坂保育園が当分の間、存続されます。

建設水道常任委員会

調整池築造工事請負契約を変更

議案5件を可決しました。所管事務について、1件の報告を受けました。

平成28年9月議会で可決され、工事を進めている並木町大久保台市道流末排水の調整池築造工事で、現場の精査により調整池土工の掘削量と土砂等の運搬量が増加したこと、砂塵、騒音、振動対策として、工事用道路の舗装が必要になったため、請負金額が増額となることから契約を変更しました。工事発注後も、大久保台区との調整を行い、通学路になっていることから安全対策をしっかりとしてほしい等の要望を受けたこと、また、造成計画の一部を見直したこと等により、変更になったものです。



工事が進む並木町調整池

委員会で審査された陳情

▶ 政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開を求める陳情書

採択 < 議会運営委員会 >

査レポート

※本会議で委員会に付託された
主な議案と審査内容の概要お
よび報告された内容の一部を
要約して紹介します。



空港対策特別委員会

成田空港のさらなる機能強化、地方版図柄入りナンバープレートの報告

●成田空港のさらなる機能強化に係る説明会等の状況

6月の委員会以降の説明会では、騒特法による移転対策区域の集落分断の解消が図られ、評価する声がある一方で、引き続き夜間飛行制限に関する意見や、谷間地域の住民からの内窓設置区域の拡大などの防音工事に関する要望、地域振興策の推進や道路、河川の整備などの要望がありました。また、成田空港周辺の地域づくりに向け、地域振興策の方向性と内容をまとめた基本プランを千葉県が作成するに当たり、成田市の担当課長等との実務者会議が開催され、千葉県では庁内各部署

で協議調整を始めています。なお、現在の谷間区域が騒防法の第1種区域になることが、四谷区の説明会で国から説明されました。

●地方版図柄入りナンバープレートについて

成田ナンバーの表示地域である空港周辺7市町で、地方版図柄入りナンバープレートの導入の意向を表明したもので、今後、国に申込みやデザインの提案を行い、平成30年10月ごろの交付開始を予定しています。

●その他

成田国際空港周辺航空機騒音測定結果(年報)、カーフューの弾力的運用の

実施状況、重大インシデント、北側脚下げ実態調査の結果、および防音工事済住宅の経年変化調査についての報告がありました。



成田ナンバーのデザインアンケートが実施されました

医学部設置に関する特別委員会

平成27年7月31日に政府により「国家戦略特別区域における医学部新設に関する方針」が決定されたことを受け、医学部および付属病院の設置に当たっての諸課題について検討調査を行うため、平成27年8月臨時会で設置された医学部設置に関する特別委員会は、9月定例会最終日に最終報告を行い、調査活動を終了しました

議案2件をいずれも可決し、4件の報告を受けました。

国際医療福祉大学医学部の校舎、付属施設およびこれに関連する必要な施設の用地を取得するための審査では、取得する土地の用途は付属病院の駐車場用地であることが示されました。

●医学部付属病院の概要及び建設に係るスケジュールについて

医学部付属病院には、642の病床、39の診療科が設置され、一般的な内科や外科のほかに、放射線治療科や移植外科、感染症内科など、あらゆる疾病に対応できる体制を整える予定で、規模は、延べ床面積が病院棟と健診棟を合わせて約9万1,000平方メートル、病院棟は8階建て、健診棟は4階建てです。海外の大学や医療機関との連携基地となる国際遠隔画像診断センターや感染症国際研究センター、医療機器の国際研修センターなどを設置し

て国際的な医療ニーズに対応し、日本の優れた医療技術を海外に展開する計画です。9月29日には起工式を行い、10月には工事に着手し、平成32年中の竣工、開院を目指しています。

●その他の報告

国家戦略特区の進捗状況、国際医療福祉大学の運動場用地、および医学部校舎建設工事の進捗状況についての報告がありました。

●最終報告

当委員会は設置以来、国際医療福祉大学に貸し付ける用地購入に係る予算審査、医学部の校舎および付属病院等の用地の取得・無償貸付けに係る議案審査のほか、執行部から、国家戦略特別区域に係る事業の進捗状況等の説明や報告を受けてきました。また、公津の杜や畑ヶ田地区の現況の把握に努め、関連施設等の視察を行い、調査、研究を重ねました。その上で、成田市

の財政負担の在り方や、地域の医療・福祉、まちづくりへの貢献、地域経済の活性化などについて、議論や提言を行ってきました。そして、医学部の設置に係る経費へ千葉県から35億円の補助が決定し、また、市内業者の活用を要望することで、受注が増加し、地域経済の活性化が図られました。さらに、成田市地域連携推進懇話会および協議会が開催され、地元の意見の集約や、市と大学双方から、報告、意見および要望が交わされるなど、地域との連携も進められました。4月に医学部が開学し、10月から付属病院の建設が始まることから、所期の目的は達成したと判断しましたが、今後も地域医療体制の充実と、大学や付属病院を活用したまちづくりにより、市民福祉の向上が図られるための努力が必要です。



9月定例会では、平成28年度決算関係9議案を審査するための決算特別委員会(委員12人)が、9月5日に設置され、19日から21日までの3日間にわたり審査を行い、いずれも原案のとおり可決および認定しました。

委員長 石渡 孝春 副委員長 海保 茂喜
 委員 鬼澤 雅弘 飯島 照明 福島 浩一 湯浅 雅明 鶴澤 治
 秋山 忍 水上 幸彦 神崎 利一 村嶋 照等 上田 信博

主な討論

●反対討論

地方債現在高、債務負担見込み額ともに上昇、増加し、経常収支比率^(注1)は前年比で1.3パーセント上がった。地方交付税も3年後には打ち切りとなるなか、医療特区に加えて公設市場再整備、農産物輸出拡大拠点化等々への多額な財政投入が続けば、市財政への打撃は避けられない。市民サービスや暮らし、福祉が切られ、住民負担の拡大につながるのではと懸念する。子ども医療費無料化の拡充がされないこと、農水予算は歳出総額に対しわずか2.3%で、遊休農地が広がり、現役農家は高齢化で担い手不足と深刻

な事態の中、9割の農家を切り捨てる規模拡大一辺倒の農政の転換を求め一般会計決算について反対する。国民健康保険特別会計決算については、生活に困窮している方、低所得の方々には軽減対策を講ずべきであるため反対する。公設地方卸売市場特別会計決算については、地元生産農家の収益拡大の道筋と展望が示されないため反対する。介護保険特別会計決算については、多額の保険料、利用料負担のもと、負担軽減が求められていることから反対する。後期高齢者医療特別会計決算については、高齢者の方々の医療費無料化のため速やかな制度の廃止を求めて、反対する。

●賛成討論

保育園整備事業について、中台保育園および吾妻保育園の大規模改修工事を実施し、その他保育園関連施策により7月には待機児童が解消され、大きな成果があったと考える。児童ホームの整備や学校の増改築については、教育環境の整備の面からも、計画的に事業が執行され、特定不妊・不育治療費助成事業、病児・病後児保育事業や子ども医療費助成事業の実施により、子育て環境の一層の拡充に努め、制度利用実績からも大きな成果があったと考える。観光の分野でも、観光客や宿泊客の動向からも、観光案内所整備事業を初めとした観光関連施策において一定の成果があっ

たことを確認できた。千葉県からの権限移譲に伴い、一般旅券の申請交付にかかわる業務を開始し、利便性の向上を図るとともに、消防機能の向上を図るため、三里塚消防庁舎の改築工事に着手するなど、安心・安全な市民生活の確保にも、一定の成果があったと確認できた。国際医療福祉大学へ医学部校舎の整備費用の補助を行うとともに、輸出拠点化を目指した卸売市場の再整備の取り組みをスタートさせ国家戦略特区を活用した将来のまちづくりが進められた。今後も増加する社会保障費の確保に関し、国や県に対して適切な財源確保を要求していく必要があることを指摘し、決算関連議案全てに賛成する。

(注1)経常収支比率…自治体の財政の弾力性の度合いを判断する指標の一つ。人件費や扶助費のように経常的に支出する「経常的経費充当一般財源」の、税金など経常的に収入する「経常一般財源」に対する割合をいう。

平成28年度成田市一般会計および特別会計決算額

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	644億4,831万円	609億8,583万円	34億6,248万円
国民健康保険(事業勘定)	156億8,935万円	151億9,580万円	4億9,355万円
国民健康保険(施設勘定)	1億5,714万円	1億5,182万円	531万円
下水道事業	21億4,346万円	20億3,626万円	1億721万円
公設地方卸売市場	2億8,871万円	2億3,045万円	5,826万円
介護保険	63億3,482万円	61億6,147万円	1億7,334万円
農業集落排水事業	1億7,048万円	1億6,916万円	132万円
後期高齢者医療	9億4,906万円	9億3,198万円	1,708万円
合計	901億8,133万円	858億6,278万円	43億1,855万円

公営企業会計決算額

水道事業会計	区分	収入	支出
	収益的収支	22億1,398万円	19億2,435万円
	資本的収支	3億6,268万円	9億3,373万円
簡易水道事業特別会計	区分	収入	支出
	収益的収支	3億5,145万円	3億5,011万円
	資本的収支	1,790万円	1億2,214万円

※数値は万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります。

議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、欠=欠席

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ							豪政会			公明党		リベラル		新風成田		共産党		志政会		虹						
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	神崎利一	上田信博	青野勝行	一山貴志	水上幸彦	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘	荒川さくら	鶴澤治	福島浩一
◆議案																													
1	人権擁護委員の推薦(宮野 精一)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	人権擁護委員の推薦(小川 美喜子)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市企業誘致条例の一部改正	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	玉造保育園大規模改修工事(建築工事)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	市道川栗畑ケ田線整備事業に係る工事の協定の変更	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	畑ケ田地区下水道整備事業に係る工事の協定の変更	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	調整池築造工事(並木町大久保台市道流末排水)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	市有財産の取得(国際医療福祉大学医学部の校舎、附属施設及びこれに関連する必要な施設の用地)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	市有財産の無償貸付け(学校法人国際医療福祉大学)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	市道路線の廃止(取香地内2号線外1路線)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	市道路線の認定(駒井野取香線)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成28年度成田市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成28年度成田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成28年度成田市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成28年度成田市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成28年度成田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成28年度成田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成28年度成田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成28年度成田市簡易水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成28年度成田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成29年度成田市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成29年度成田市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成29年度成田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	教育委員会委員の任命(片岡 佳苗)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(伊藤竹夫)は採決に加わりません。※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑

ここが知りたい！

一般質問

市政に関する一般質問は、9月5日から8日までの4日間行われ、17人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

※一般質問とは議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。



電話de詐欺対策を

1

問 オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺などが急増し、社会問題となっている。金融機関を通じての振り込みに加え、犯人が現金やキャッシュカード、クレジットカードを被害者の自宅などに取りに来る現金・キャッシュカード受取型、宅配便などを利用して犯人が指定した宛先に配達させる現金送付型等、振り込ませない振り込み詐欺のさまざまな手口が発生し、ほとんどが1本の電話から始まっている。現在の詐欺防止の取り組み状況を伺う。

喚起をしているほか、防災情報や防犯・安全情報などを配信しているなりたメールにより、その内容や対応方法などを発信している。また、平成28年度より、電話の着信時に相手方にアナウンスが流れ、通話を自動録音することで詐欺を抑止する機器の貸し出しを行っている。今後も警察署や関係団体等と連携を図り、市民が電話de詐欺に遭わないよう未然防止に努めていく。

一山貴志
議員



その他の質問

- ◆情報発信の現状と課題
- ◆SNS活用の取り組み
- ◆熱中症対策

答 青色回転灯装着車によるパトロールの際のアナウンスや、広報なりたなどで注意

2 付属病院ができることによる周辺への効果は

神崎利一
議員



問 国際医療福祉大学付属病院の開設は、国際医療学園都市構想の中で重要な事業だと思ふ。敷地内道路の工事や本体工事の事務所の建設など、平成32年度の開院に向けて準備が進められる中、さきの中学生議会では、地元の生徒が、付属病院の建設で予想される遠山地区の変化を質問していた。付属病院の建設による周辺への効果は。

る。また、周辺道路の交通量の増加が見込まれ、市では周辺道路の拡幅や改良を計画し、バス事業者も乗り入れを検討しているので、付属病院周辺の交通アクセスは大きく向上すると予想する。さらに、都市計画マスタープランでは畑ヶ田地区を学術・医療集積拠点として位置づけ、地区の熟度に応じ市街化区域^(注2)に編入することも検討するとしているので付属病院周辺がまちづくりの新たな核として成長し、さまざまな効果をもたらすことが期待される。

答 医療従事者など、2千人を超える人々が病院に勤務予定のため雇用が創出され、病院周辺に居住することも予想されるため、人口が増加し、地域の活性化に寄与すると考え

その他の質問

- ◆市場跡地をどう考えているのか
- ◆空港周辺の土地利用も機能強化策ではないか

(注2)市街化区域…すでに市街地を形成している区域およびおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域

3 農薬の空中散布・ヘリコプター防除問題について

会津素子
議員



問 農薬の空中散布・ヘリコプター防除に関して、埼玉県久喜市では、アンケートで効果がありませんという答えが多かったことから10年以上前に空中散布をやめ、千葉県いすみ市では、農薬の散布をやめたことで、カメムシの天敵が出て、結果的に害虫被害はそれほど出なかったと同った。成田市は、ヘリコプター防除に関して、補助金を出している以上、効果と成果を検証すべきではないか。

答 新潟県農業総合研究所において、ネオニコチノイド系薬剤の散布による研究結果が示されている。散布後、収穫期までカメムシ

の成幼虫に対して高い密度抑制効果があり、斑点米^(注3)発生に抑制効果が高いとされていることから、農薬無人ヘリコプター防除事業の実施により、良質米の生産につながるものと考えている。



無人ヘリを使った農薬空中散布

その他の質問

- ◆空港機能強化による騒音が住民生活に与える影響
- ◆誰もが利用しやすい公共交通対策を推進するために
- ◆バス停留所にベンチを

(注3) 斑点米…米粒に茶褐色の斑点が残った米のこと。主な原因は、カメムシ類が初からデンプンを吸い、その痕にカビが発生するためである。食味には影響せず、健康上も問題ないが、見た目が悪いいため商品価値が下がる。

夜間騒音、落下物対策に全力を、飛行時間拡大計画は撤回を

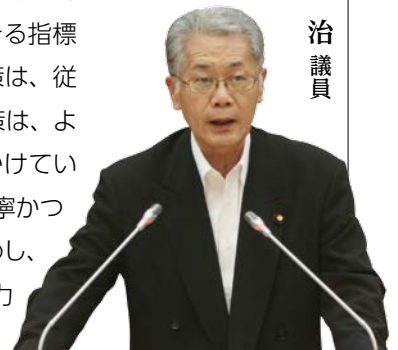
4

問 成田空港機能強化策は見直しを余儀なくされたが、驚いたのは飛行3時間拡大計画のうち、わずか30分削って修正提案されたことである。被害は既に限界点を超え、これ以上の拡大はやめてほしいというのが、住民の圧倒的な声である。健康影響調査の実施、夜間騒音評価指標の見直しと制度化、落下物対策としての移転補償の制度化の実現と併せて、飛行時間拡大計画は夜間騒音被害を補償する抜本的対策が示されない以上は撤回してほしいが、見解は。

答 夜間騒音については、スライド運用により、飛行経路下の6時間の静穏時間確保を

含む新たな提案が示され、空港の機能強化と地域住民の生活環境の保全が両立できる提案と考える。健康影響調査は、夜間飛行制限の緩和など状況が変化した際は速やかな調査の実施を求め、全戸調査や対象年齢引き下げも、要望したい。また、Ldenに加え、夜間騒音を評価できる指標の追加を国に要望していく。落下物対策は、従来の対策は引き続き実施し、新たな対策は、より実効性があるように関係機関に働きかけていく。夜間飛行制限の緩和については、丁寧かつ速やかに説明を行い、双方向で意見を交わし、理解と協力が得られるよう、最大限の努力をしていく。

鶴澤
治
議員



5 個人情報の校外持ち出しに関する管理および対応は

雨宮真吾
議員



問 個人情報の校外持ち出しによる紛失は、全国的に見ても後を絶たない。原則として個人情報は校外に持ち出すことは禁止であることは当然だが、学校現場で校外持ち出しを例外的に許可するような事例はあるのか。あるならば、許可する例外的条件とは何か。

答 個人情報の校外への持ち出しは原則禁止しており、やむを得ず持ち出す場合でも、学校情報セキュリティ責任者の許可を得なければならない。また、特定個人情報についてはインターネットに接続している端末での作業を禁止している。国のガイドラ

インなどは、より厳格になっており、それらの基準に沿った内容でセキュリティ対策を実施している。例外的に個人情報を持ち出せる緊急性が認められるのは、教職員の家族が病気になったり、子どもを児童ホームに迎えに行く必要が生じたりと、校内に残って仕事をするのが困難な場合で、かつ提出期限が差し迫る状況が重なった場合などが挙げられる。

その他の質問

- ◆セクシュアルハラスメント防止
- ◆セクシュアルハラスメントおよび体罰に関する実態調査の結果

6

油田
清
議員



問 子ども食堂には明確な定義はない。民間の個人で始めた運動が広がったもので、子どもと食堂が合体してつくられたネーミングのわかりやすさや、子どもの貧困を背景としていられると思われ、どれも個性的である。最近では、太田市のように子どもの居場所をつくるのを主眼として、行政が音頭をとり、子ども食堂を広げる努力をする自治体が増えている。成田市でも食事を通じて地域と孤立しがちな家庭や子どもたちがつながることを願い、「子ども食堂からべえ」が開設された。寄付金や、食料品、ボランティアの申し出など、たくさんの協力があったが、一定の広さと厨房を備えた会場を探すこ

子ども食堂の支援を

とが困難であった。一定の費用もかかるので、子ども食堂の支援に関して考えを伺う。

答 子ども食堂への支援については、目的、対象者等の事業内容を精査しどのような支援が可能か、今後も調査研究していく。 子ども食堂からべえ



その他の質問

- ◆再整備での卸売市場の将来像は
- ◆国連で採択された核兵器禁止条約を批准するよう働きかけを

7

成田市のビジネス環境整備を



青野
勝行
議員

問 ビジネス環境とは一言でいうとビジネスのしやすさで、起業の手続き、建設認可、電力調達、資産登記、小額投資者保護、納税、通関行政、契約履行、破綻処理の手続きの回数や日数、コストが少なければ少ないほどビジネスがしやすい環境が整っていると評価される。政府は国際競争力強化のための基盤・環境整備を進めている。成田市でも企業が進出しやすい環境と国籍を問わず起業しやすい環境を整備する必要があると考えるが、成田市は、総合的ビジネス環境支援について必要性を感じているのか、そして実施、検討する考えであるのか伺う。

答 現在進められている空港の機能強化や医療関連産業、先端産業の集積を鑑みても、企業が進出しやすい環境の整備、総合的なビジネス環境の支援の必要性を感じている。また、総合的ビジネス環境支援の実施、検討については、7月31日に施行された地域未来投資促進法を活用し、地域経済牽引事業を推進することで、経済活性化や産業の振興が期待されるので、成田市特有の資源や特性を生かしたビジネス環境の支援について検討していきたい。

その他の質問

- ◆成田市の国際人材の配置

児童虐待防止の取り組みを



鳥海
直樹
議員

問 児童虐待を行う親自身が幼少期にも虐待を受けている傾向が学術論文で明確になっている。そもそも児童虐待を防止するための施策として、学校教育における児童虐待を、既に教育問題となっているいじめと同じように道徳の時間等に取り入れて、幼少期からの教育を行い、虐待する親になってしまう負の連鎖を防ぐための教育が必要ではないか。今後、児童虐待防止についてどのように教育していくのかを伺う。

答 道徳の授業を要とし、学校の教育活動全体を通して、人間的成長を促す日常的な道徳の指導を行い、思いやりの心情を育てている。児童虐待は大変繊細な問題であり、学校では被害に遭っている児童生徒の立場に立って、心の声を早期に受けとめられるよう、日ごろより教職員の意識の向上を図り、児童生徒を見守る視点を高めて、児童虐待の早期発見、早期対応に努めていく。

その他の質問

- ◆児童虐待が増加する要因の分析と見解
- ◆高齢者の居場所づくり
- ◆コミュニティカフェ(仮称)地域お茶の間創造事業の提案

9

増え続けている 空き家への対策を



石渡孝春
議員

問 まちを歩くと空き家が随分増えたように感じる。空き家の老朽化からくる悪影響は倒壊の被害や衛生上の影響、景観上の不適合、植栽の不整備による道路通行上の影響などいろいろある。国も、緊急の対策が必要であることから、「空家等対策の推進に関する特別措置法」を制定し、対策に乗り出した。成田市は空き家の実態をどのように捉えているのか、また、特別措置法が施行されてからの取り組みについて伺う。

答 成田市内には、空き家と推定される物件が1,362件あり、特に市街地の空き家の件数が多く、防災、防犯、衛生などに関して相談が多く寄せられている。特別措置法の施行後は、所有者および行政の責務が明確化され、市町村は状況確認のため、敷地内への立入調査が可能になった。空き家に関する相談が市民から寄せられた場合には、早急に現地を確認し、所有者などを調査した後、適切な管理の依頼を行っている。また、庁内関係部署で組織する空き家等対策計画策定委員会を設置し、空き家等対策計画の内容について検討している。

その他の質問

- ◆激増している成田祇園祭の見物客対策を
- ◆参道地区の深夜から早朝にかけての治安対策

海保茂喜
議員



11 落下物対策と機能強化をなぜ関連づけるのか

問 成田空港のさらなる機能強化の説明の中で、落下物対策として移転対策・航空機落下物被害救済支援制度の2つが挙げられているが、落下物対策と機能強化を関連づけることには無理があり、同じテーブルで議論することではない。頭の上から物が落ちてくるような環境を、恐怖におびえながら生活する現実を、誰も望んだわけではない。空港の機能強化がなければ、この2つの落下物対策は実施しないのか。また、あくまでも落下物対策と機能強化は



10 ペット火葬場の 環境整備を



星野慎太郎
議員

問 成田市のペット火葬施設は県内でも珍しく、東京都内からも利用者がいると聞いている。利用料金も、民間の火葬施設と比べて利用しやすく設定されている。しかし、実際にペットが亡くなり、火葬施設を利用しようと下見に来たときに、火葬施設の敷地内がとても殺風景で、物寂し過ぎたため、ペットをふびんに感じて火葬を見合わせた方もいる。かわいがっていたペットを火葬する人の気持ちに合わせ、火葬施設の見直しとともに、施設の周囲に芝生を植え、植樹を行うなどの緑地化を図り、温かい雰囲気にしてほしいが、見解を伺う。

答 利用する方々の気持ちに寄り添う施設になるよう、民間も含め、他の施設の状況も参考にしながら、ペット火葬場の環境整備について調査研究していきたい。



ペット火葬場

その他の質問

- ◆不登校児童・生徒、保護者への専門的サポートは
- ◆ふれあいるーむ21^(注4)の状況
- ◆市独自のスクールソーシャルワーカーの事業化を

(注4)ふれあいるーむ21…成田市教育支援センターのこと。不登校児童生徒の学校復帰を目的に、カウンセリング、学習指導、学校との連絡会・保護者会の開催等を行っている。

セットで考えるのか。

答 航空機からの落下物はあってはならないものと考えている。成田空港のさらなる機能強化案が示される前から実施している対策については引き続き実施し、また、機能強化に伴い新たに提示された対策については、より実効性のある対策になるよう、関係機関に働きかけていく。

その他の質問

- ◆空港をめぐる人権と機能強化の両立は
- ◆公文書管理と情報公開、今後の公文書の在り方は
- ◆地域福祉の未来像を実現するためには

12 障がいをもつ方のグループホームの増設を

荒川さくら議員



問 日本が批准した障害者権利条約では、障がい者の方が住む場所、暮らし方を選べるとされている。そのためにはグループホームといった社会的資源を増やし、同時に自宅や地域の中でも、しっかりとしたサポート体制が受けられる体制、環境づくりが必要である。しかし、障がい者施策の根本に家族依存があり、多くの障がいのある子の親は子どもが高齢になっても同居し、生活の世話をしているのが現状である。家族が安心して子どもを託せる社会にする必要がある。まずは足りない障がい者のグループホームの増設を求めるが、市の見解は。

答 グループホームの整備状況は、社会福祉法人などの民間法人により本年度中に1カ所、平成30年度以降に3カ所が新設される予定である。グループホームの果たす役割は重要であり、その需要は今後増加していくことが予想され、さらなる整備拡充が必要と認識している。

その他の質問

- ◆市場の建設費、輸出拠点化で36億円が約135億円の負担増に
- ◆子どもの医療費助成、18歳までの対象拡大を
- ◆住宅リフォーム、家具の転倒防止器具への助成制度の創設を

13 観光客誘致施策と観光アプリの活用

問 6月に、成田市観光基本戦略として、観光振興の基本の考え方と施策の方向性、計画目的を示した成田市観光振興基本計画が平成33年度までの5カ年を計画期間として策定された。観光基本戦略による観光客誘致施策について、地域経済分析システム(リーサス)^(注5)等官民データの活用と、地域資源を生かした施策の考えは。また、観光アプリ「FEEL成田」で防災情報が確認できることを観光客に周知すべきではないか。

と捉えている。計画策定時、リーサスのデータでは千葉県内のほか東京都や茨城県からの観光客が多く、誘致の重点地域とした。今後も効果的かつ戦略的な情報発信により観光客誘致に努め、再整備される市場も新たな観光スポットとなるよう努める。また、観光アプリ「FEEL成田」では、気象警報の発令や震度4以上の地震の際に、災害情報が多言語で配信されるので、ホームページ等を活用し、周知に努める。

水上幸彦議員



答 観光客誘致施策については、リーサス等を活用した観光マーケティングが重要だ

その他の質問

- ◆卸売市場再整備事業
- ◆エアポート都市構想の進捗状況
- ◆地域防災計画における「要配慮者」等の対応

(注5) 地域経済分析システム(リーサス)…内閣府のまち・ひと・しごと創生本部が運用している、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のいわゆるビッグデータを集約し、可視化を試みるシステム。

14 コミュニティサイクルの導入を

大倉富雄議員



問 市民から、インバウンド^(注6)としてコミュニティサイクルを導入してはどうかという貴重な意見があった。コミュニティサイクルは、地区内に複数のサイクルポート(自転車の貸し出し・返却拠点)を設置し、どこでも借りられ、どこでも返却できるネットワーク型の自転車シェアリングのことで、回遊性の高まりによるまちの魅力の向上や、観光の活性化など、幅広い効果が期待される。そこで、成田市でコミュニティサイクルの社会実験を実施してはどうか。

れる。また、自転車は成田の自然や町並みを散策でき、他の交通手段にはない楽しみ方もできる。回遊性の向上を図る手段としてどう活用できるか、先進地の事例を参考にしながら検討する。



千代田区のコミュニティサイクル

答 コミュニティサイクルの導入は有効な移動手段の一つとして考えら

その他の質問

- ◆空家等対策計画・空き家バンク
- ◆認知症施策推進総合戦略の推進
- ◆高校3年生までの医療費助成を

(注6) インバウンド…外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

15 輸出農産物の現状とギャップ認証取得の推進

福島浩一
議員



問 輸出農産物の現状と地域農産物の輸出について、農産物が千葉県的主导により輸出されていると聞かすが、現状は。また、農産物の輸出に当たっては、農業生産工程管理、いわゆるギャップ認証の取得が食品の安全や品質を確保する上で、世界的に重要視されるが、今後ギャップ認証取得の推進をどう考えるのか。

答 千葉県の輸出促進ガイドラインではサツマイモなどを重点品目とし、輸出拡大が図られている。成田市は千葉県の支援を受けサツマイモの輸出に取り組み、輸出量が拡大している。農業において食品安全、環境保全、労働

安全などの持続可能性を確保するための農業生産工程管理の取り組み、いわゆるギャップ認証の取得は、生産管理、効率性、生産者自身や従業員の経営意識の向上につながる効果があり、農業人材の育成、競争力強化にも有効であるとされる。今後は関係機関・団体と連携を図りながら、勉強会や講習会を通じて農業者へギャップ制度の周知を図っていく。

その他の質問

- ◆固定資産税と都市計画税
- ◆新市場周辺の土地利用
- ◆新市場設置の地域農業と他産業への経済効果

50年を迎える成田ニュータウン全体の再整備を

16

宇都宮高明
議員

問 成田市立地適正化計画において、今後も空港機能の拡大等に伴い、就業者数の増加が見込まれるため、就業の場だけではなく居住の場としても選ばれるまちづくりを進めていく必要があるとされている。まず着手すべきは約500ヘクタールの面積を有し、事業開始から間もなく50年となる成田ニュータウンの再整備であると提案するが、成田市の考えを伺う。

答 赤坂地区で都市機能の充実を図るとともに、生涯学習や子育てなどを支援する多機能複合施設の整備に向けた検討を進めることとしている。また、成田ニュータウン全域を居

住誘導区域とし、高齢者や子育て世代に配慮したまちづくりに取り組み、現在の良好な都市基盤を有効活用し、若年層を中心に居住の誘導を図るなど、都市の成熟に応じた住宅地の更新を図っていくことが重要であると考えている。今後、空港機能の拡大等により、新たなまちづくりが想定されるため、地域の特性に応じた用途地域の見直しや地区計画の活用などにより、新たな都市基盤の有効活用を推進していく。

その他の質問

- ◆国主導で都心直結線の整備を
- ◆医学部新設を機に国際医療都市への新たな歩みを
- ◆成田国際空港株式会社との人事交流の再開を



17 成田駅前に食品スーパーマーケットがあると便利という市民の声

鬼澤雅弘
議員



問 車を利用しない方、高齢者、通勤通学で駅を利用する方などから、成田駅前に食品スーパーマーケットがなく不便なので、できたら便利だという声が多く聞かれる。スカイタウン成田に食品スーパーマーケットを誘致することはできないのか。

答 市民から、駅前の食品スーパーマーケットの出店を望む声が多くあることは重く受けとめているが、出店は事業者が採算性をもとに判断するものと考えている。スカイタウン成田の商業スペースは、再開発事業区域内の土地や建物の前所有者が、従前の権利に応じた面

積を取得しており、活用方法は所有者の意向で決まる。市は、店舗の誘致について直接関与はできないが、空き室が7区画あるので、権利者に対し市民の要望を伝えたい。



食品スーパーマーケットがあると便利な成田駅前

その他の質問

- ◆卸売市場移転整備費約135億円の本市負担は
- ◆国道51号の渋滞緩和策と拡幅工事の予定は
- ◆成田空港のスライド運用案による睡眠確保は

市議会へ傍聴に行ってみよう

市議会を実際にみてみたいと思っても、傍聴の仕方もよくわからないし、敷居が高いなといった方も多いと思います。そこで、今回は、市議会の傍聴についてフォーカスします。



本会議の傍聴



①市役所議会棟福祉部入り口から入ります。

②傍聴用エレベーターに乗り、4階まで行きます。



③傍聴者入り口から中に入り、傍聴手続きをし、傍聴券をもらいます。傍聴手続きでは氏名、住所などを記入していただきます。



④傍聴席から本会議を傍聴できます。議会の傍聴席は66席(車いす席2席を含む)です。また、別室の傍聴用モニター室で傍聴することもできます。

委員会の傍聴



①市役所議会棟市議会入り口から入ります。

②エレベーターに乗り、2階まで行きます。



③議会事務局で傍聴手続きをし、傍聴券をもらいます。傍聴手続きでは氏名、住所などを記入していただきます。



④3階にある委員会室で委員会を傍聴できます。委員会室の傍聴席は10席です。また、別室の傍聴用モニター室で傍聴することもできます。

傍聴の時のご注意

- 大きな声をだしたり、拍手などをしないでください
- 飲食や喫煙はできません
- 児童や乳幼児は原則として傍聴席に入ることができません

- 携帯電話、スマートフォン等のご使用はお控えください
- 傍聴規則に違反していて、指示に従っていただけない場合、退場をお願いすることがあります



ほかにもあります。市議会のみかた

How to watch

市議会にネットでアクセス

傍聴の仕方はわかったけれども、やっぱり手軽に議会をみたいといった方は、お持ちのパソコンやスマートフォン・タブレットで議会を視聴することができます。

本会議はライブ・録画映像を、委員会はライブ映像を発信していますので、成田市議会のホームページから議会中継のページを選択してください。

(平成28年3月定例会以前はパソコンからのみ視聴可能です)



成田市ホームページURL

<http://www.city.narita.chiba.jp/gikai/index.html>



● 会議の正式な記録である会議録をホームページ上で公開していますので、こちらにもアクセスしてみてください。

市議会だよりが電子ブックでご覧いただけます

市議会だよりが前号から電子ブックでもご覧いただけるようになりました。成田市議会ホームページにPDF版、電子ブック版が掲載されていますので、ぜひページをめくってみてください。

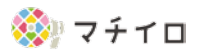


市議会だよりがアプリ「マチイロ」でご覧いただけます

市議会だよりが前号からアプリ「マチイロ」でもご覧いただけるようになりました。登録いただくとアプリから自動的に通知がきて、議会だよりを毎号ご覧いただけます。

行政情報アプリ「マチイロ」とは

自治体が発行する広報紙やホームページの最新情報をスマートフォンやタブレットで読むことができるアプリです。現在は500自治体が導入し、配信中の広報紙は月間800件、配信中の最新情報は1,250自治体です。



マチイロQRコード

市議会トピックス

議員研修会を開催

成田市議会議員団では、議員の資質向上、議員活動の向上を目指し、研修会を行っています。

8月30日には、「これからの成田市議会の活動について～なにが出来る何が足りないのか～」をテーマに、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を迎えて開催しました。



中学生議会を開催

8月18日に中学生議会が開催されました。中学生に市議会の役割や仕組みについて体験的に学んでもらうことで、市政への関心を深めてもらうことを目的として開かれるものです。市内中学校11校から代表24名が出席し、模擬議長選挙で選ばれた議長役の生徒の進行で、学校教育や安全対策などの市政に関する問題について、中学生の視点からさまざまな質問や意見が出されました。



議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた議会の実現のため、平成27年度より議会報告会を開催しています。実施3年目となる平成29年度も議会報告会を下記のとおり開催いたします。この報告会では、定例会における審議の内容や過程の説明ほか、参加者との意見交換などを予定しております。多くの皆さんのご来場をお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。

開催日	時間	会場
平成29年 11月4日(土)	午前10時～正午	八生公民館
	午後2時～4時	豊住ふれあい健康館 2階 多目的室
平成29年 11月5日(日)	午前10時～正午	中郷公民館
	午後4時～6時	成田市役所 議会棟 3階 委員会室

※参加を希望される方は当日直接会場へお越しください。

各会場とも駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※詳しくはホームページをご覧ください。



コーヒータイム



「議会はどんなことをしているの」「議員の仕事って何」こうした声をよく耳にします。本来、政治は生活と密着していて、「身近なもの」にもかかわらず、「遠く感じる」現状があります。これを変えるため、成田市議会では、議会報告会を行っています。「議会が何をしているのか」をまず知っていただき、皆さんの生活と照らし合わせて、「今、何が必要か」をお話いただければと思います。若者、子育て世代、お年寄り、さまざまな世代の方と議会が一緒になって、成田市政について考えることが、地域での民主主義を実のあるものにすると思います。そのための取り組みでもある議会報告会に、多くの方がお越しいただければ幸いです。皆さん、お気軽にご参加ください。

広報広聴副委員長 荒川さくら

12月定例会は、**12月1日(金)** 開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476 (20) 1570
FAX 0476 (24) 0336

成田市議会

検索